

KEIAI

デザインのケイアイ

FY2025 1Q FINANCIAL RESULTS

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

ケイアイスター不動産株式会社



経営理念

Our Purpose

我々は豊かで楽しく快適なくらしの創造をめざす、
「豊・楽・快（ゆたか）」創造企業です

ビジョン

Our Vision

すべての人に持ち家を

2025年3月期 1Q決算サマリー

- 市中在庫の調整がゆるやかに進捗し、第1四半期売上高は675億円、販売棟数も第1四半期最高の1,865棟と予算達成に向けて順調にスタート
- 2024年6月に実行した大型シンジケートローンに係る支払手数料発生等により、経常利益は前期比△7.6%となった。
- 負ののれん発生益が前期比で減少した影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比△38.0%で着地

		2025年3月期1Q実績	前期比
2025年3月期 1Q業績	売上高	675億円	10.6%
	営業利益	26億円	5.3%
	経常利益	22億円	△7.6%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	12億円	△38.0%
		取得金額の総額	取得株式の総数
株主還元	自己株式の取得	10億円	292,200株

2025年3月期 第1四半期 決算概要

連結損益計算書（第1四半期会計期間）

予算達成に向けて売上は順調に推移。粗利率もゆるやかな回復傾向にある。

売上高は第1四半期として過去最高の675.6億円（前期比10.6%）、経常利益は22.2億円（同、△7.6%）、純利益は12.8億円（同、△38.0%）となった。

（金額単位：百万円）

	2024年3月期 1Q（4-6月）		2025年3月期 1Q（4-6月）		対前期増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	61,096	100.0%	67,568	100.0%	10.6%
売上総利益	7,464	12.2%	8,298	12.3%	11.2%
販売費及び一般管理費	4,962	8.1%	5,663	8.4%	14.1%
営業利益	2,502	4.1%	2,635	3.9%	5.3%
経常利益	2,411	3.9%	2,228	3.3%	△7.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,078	3.4%	1,288	1.9%	△38.0%

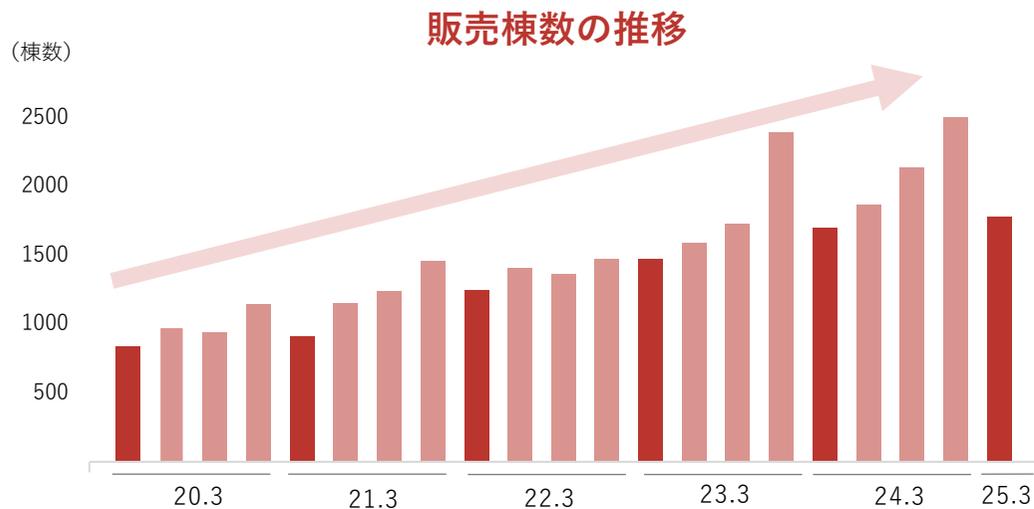
主要報告セグメント業績

市中在庫調整がゆるやかに進むなか、分譲住宅事業の売上高・販売棟数は順調に増加。
注文住宅事業に関しても、グループ入りした新山形ホームテック社を連結し、今後さらに
売上拡大の見込み

(売上高・営業利益 単位：百万円)

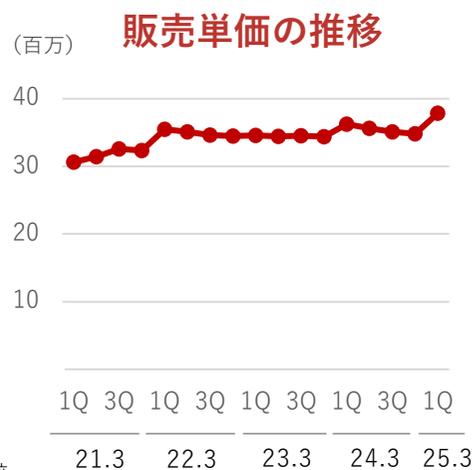
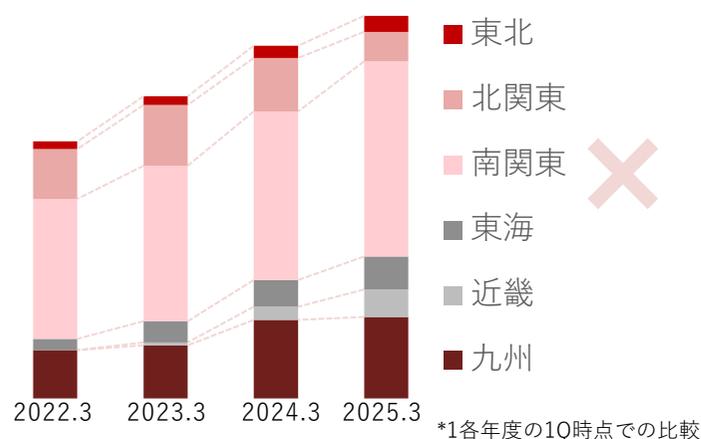
		2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	対前期増減率
分譲住宅事業 (土地含む)	販売棟数	1,625	1,785	+ 9.8%
	売上高	58,903	65,090	+ 10.5%
	営業利益	3,161	3,306	+ 4.6%
注文住宅事業	販売棟数	72	80	+ 11.1%
	売上高	1,218	1,434	+ 17.7%
	営業利益	83	140	+ 68.9%

エリア別販売棟数および推移



- この数年で店舗の全国展開とM&Aを進め、一つの地域に依存しない多様な地域ポートフォリオを構築
 - 需要が堅調な南関東を中心に、近畿エリアでも販売棟数が増加。継続して全国におけるシェア拡大を目指す

エリア別販売棟数の推移※1



- 今期も、マーケットに合わせた出店戦略により、安定したエリアシェアの獲得と継続的な販売棟数の増加を目指す

販管費及び一般管理費

販管費の売上高比率は8.4%と前期比でほぼ横ばい。

(単位: 百万円)

	2024年3月期 1Q		2025年3月期 1Q		対前期増減率
	実績	売上対比	実績	売上対比	
販管費及び一般管理費	4,962	8.1%	5,663	8.4%	14.1%
販売手数料	1,292	2.1%	1,556	2.3%	20.4%
広告宣伝費	194	0.3%	139	0.2%	△28.0%
給料及び手当	1,293	2.1%	1,356	2.0%	4.9%
賞与引当金繰入額	△27	0.0%	126	0.2%	-
その他	2,209	3.6%	2,484	3.7%	12.4%

連結貸借対照表

資産合計は2,627.9億円、純資産は605.9億円となった。

(単位: 百万円)

	2024年3月期 通期*	2025年3月期 1Q	前期末比増減額
流動資産	235,041	249,520	14,479
固定資産	10,896	13,270	2,373
資産合計	245,938	262,790	16,852
流動負債	139,801	135,552	△4,249
固定負債	45,111	66,643	21,532
負債合計	184,913	202,196	17,282
純資産	61,024	60,594	△429
負債・純資産合計	245,938	262,790	16,852

*会計方針の変更により、前連結会計年度が遡及適用されており、一部の数字が修正されております。

棚卸資産の概況

棚卸資産は、前期比221.9億円増加。

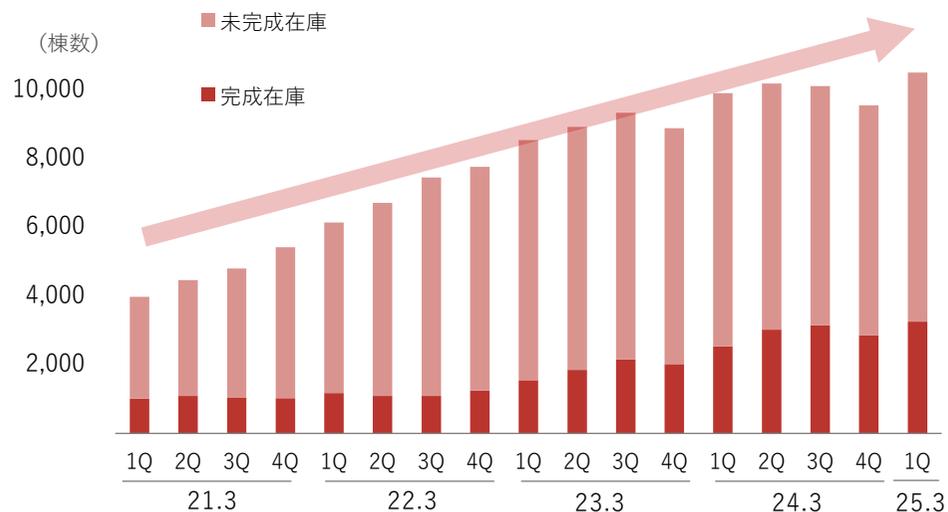
在庫は10,000棟を超え、堅調に推移している。

(単位: 百万円)

	2024年3月期 通期	2025年3月期 1Q末	対前期増減額
棚卸資産	170,533	192,727	22,193
販売用不動産	89,317	105,755	16,437
仕掛販売用不動産	76,792	81,570	4,778
未完成工事支出金	4,423	5,401	978

在庫数および在庫回転推移

在庫数推移



- 総在庫数は10,000棟を超え、今期以降の成長に向け堅調に推移。市中在庫の需給バランスにあわせて、仕入は継続的に行っていく。

- 同時に、在庫回転は高回転を維持しており、常に在庫の入替えを促進



在庫回転日数推移*1



*1仕入決済から建物販売決済までの平均回転日数 (Lハウジング社を除くグループ平均)

- 引き続き、KEIAIプラットフォーム活用による高回転経営を推進することで、売上拡大と利益確保の適切なバランスを取った在庫のマネジメントを行う。

事業方針・業績予想

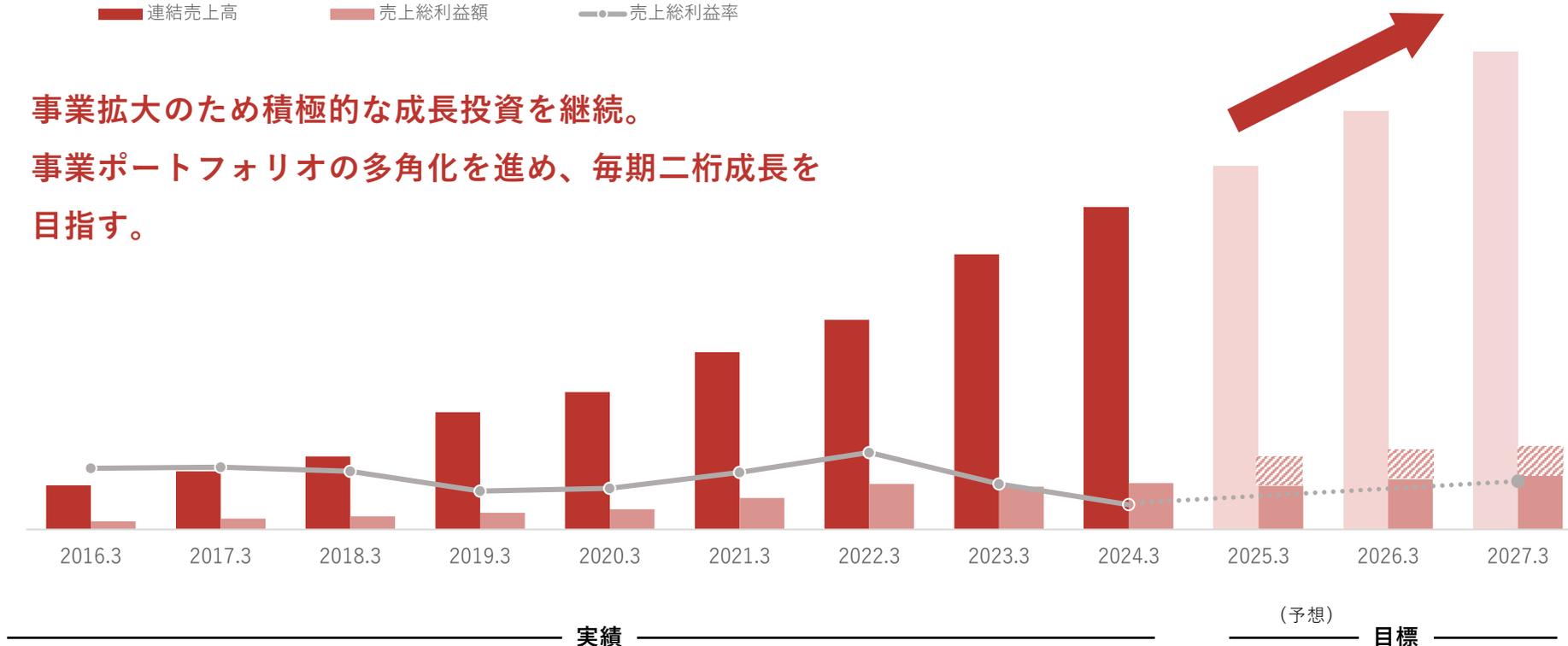
事業成長イメージ

戦略的な店舗展開と用地仕入、生産能力拡大により分譲住宅事業は安定的に伸長。
注文住宅事業及び海外事業等その他事業の推進やM&Aなど、事業拡大のための成長投資を積極的に実行することで、持続的な事業成長を図る。

連結売上高の成長イメージと売上総利益率

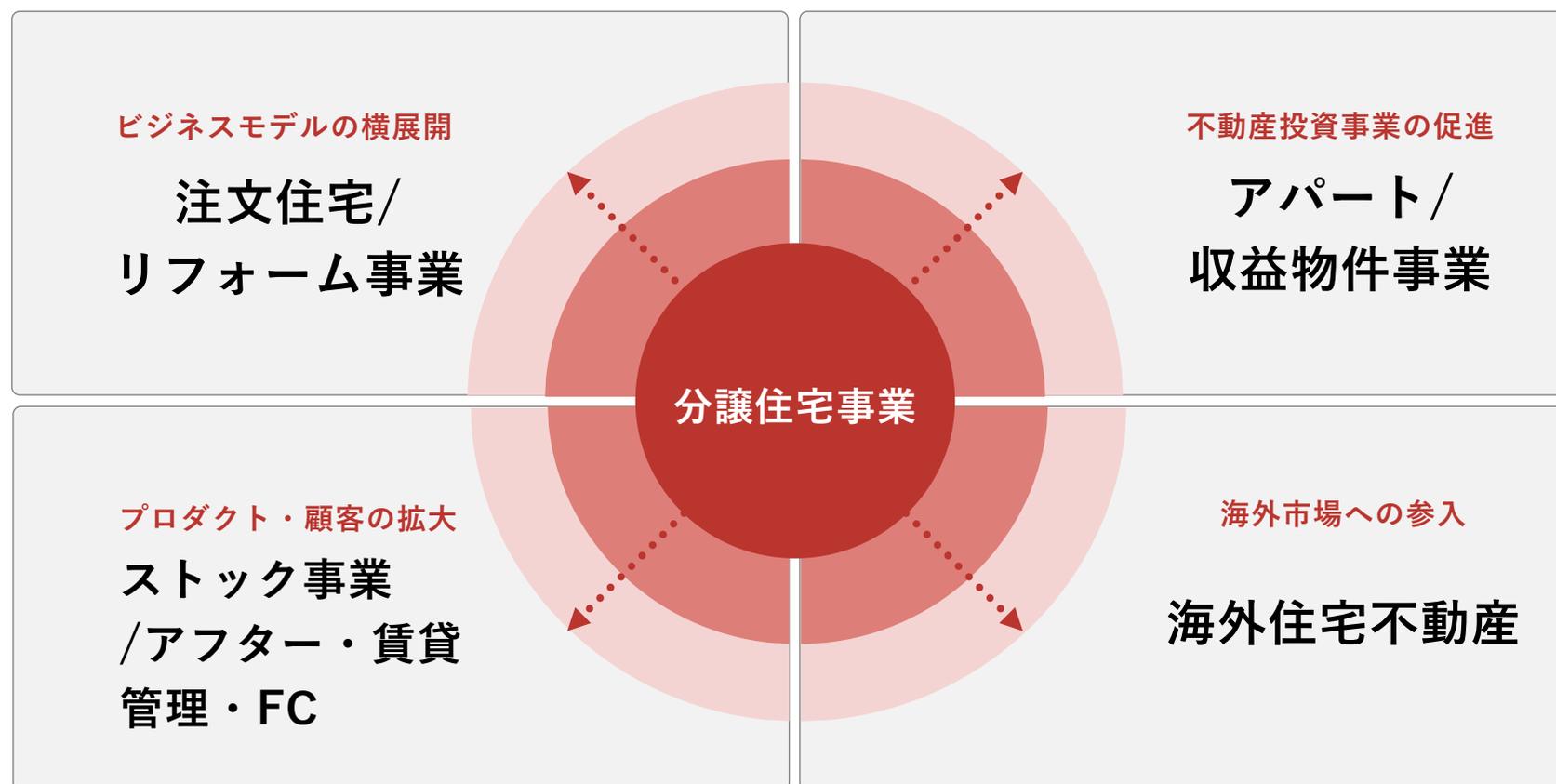
■ 連結売上高 ■ 売上総利益額 ● 売上総利益率

事業拡大のため積極的な成長投資を継続。
事業ポートフォリオの多角化を進め、毎期二桁成長を目指す。



事業ポートフォリオの拡大

主力となる分譲住宅事業で培ったKEIAIプラットフォーム活用によるDXやグループ経営によるシナジー発揮など、当社グループの強みを梃子に住宅関連の新たな事業領域への展開を進め、毎期二桁成長を目指す。



事業ポートフォリオの拡大：注文住宅

KEIAIの注文住宅

- ✓ 分譲住宅事業において培った商品力、用地仕入力、施工力を活用することにより差別化を図る
- ✓ 2024年4月に新山形ホームテック社がグループに参画、引き続き全国を対象にM&Aによるグループ拡大を目指す



- ケイアイグループと地域の有力注文住宅企業とのシナジー発揮
- 注文住宅領域においても市場シェアの拡大を図る

KEIAIの規格型平屋 (IKI)

- ✓ 専用アプリによるマーケティング、ロボットによる無人接客等、「DXフル活用」によるコンパクトな規格型注文平屋を供給
- ✓ 国産材100%使用、太陽光発電システムの標準装備など、サステナビリティにも対応



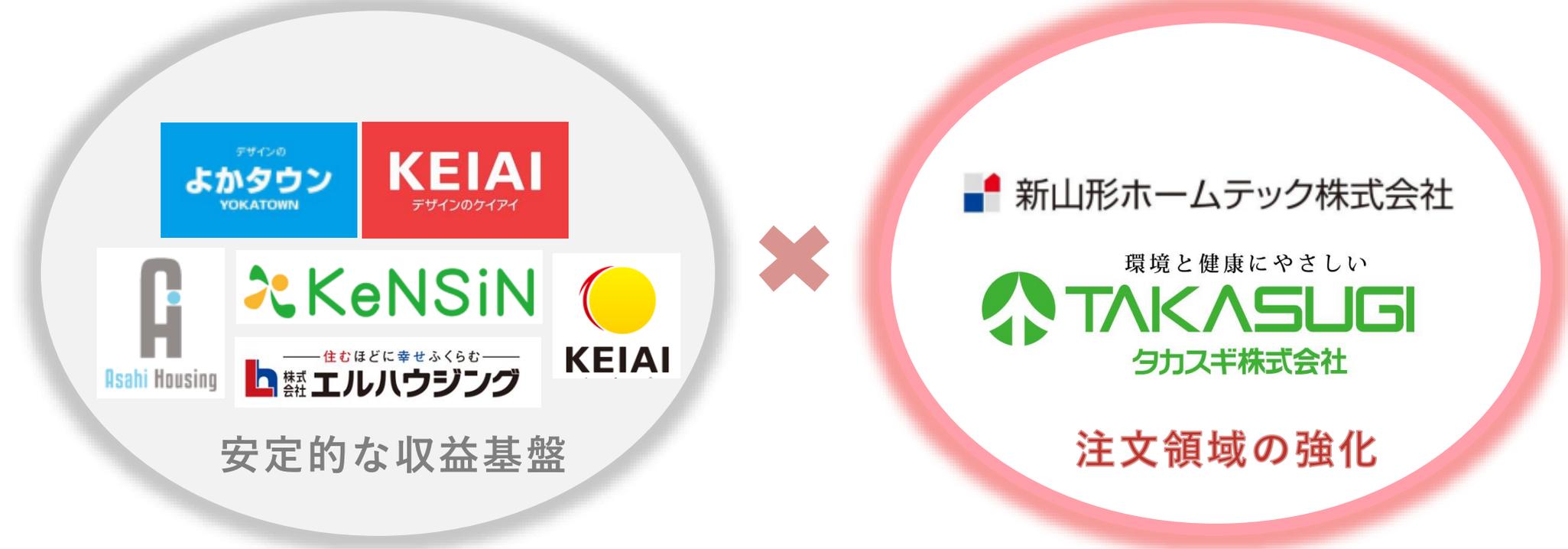
事業ポートフォリオの拡大：注文住宅

2024年5月23日にTAKASUGI株式会社の株式譲渡に関する契約を締結し、7月1日付で株式取得を実行。熊本県内有数の住宅メーカーであるタカスギ社が当社グループに加わることで、注文事業の拡大を加速し、当社とタカスギ社が持つ仕組みやノウハウ等、双方の経営資源の融合を通じて、九州エリアでの更なる事業拡大を図る。



分譲と注文のシナジー発揮により、九州エリアでの事業拡大を加速させる

事業ポートフォリオの拡大：注文住宅



KEIAIグループ各社によって、国内分譲事業は継続的に成長
今期、新たにグループ入りしたM&A会社によって、
注文住宅事業の強化・分譲と注文のシナジー効果を発揮させる

事業ポートフォリオの拡大：リフォーム事業

- 6月に体験型フルリフォーム物件『宇都宮モデルハウス』が完成
 - ▶以前販売していた和モダンの雰囲気様々な世代の方に親しんでいただけるようプランニング
 - ▶完成見学会は盛況。8月末には水戸営業所のモデルハウスも完成予定

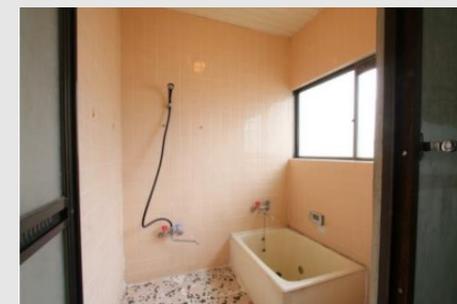
外観

キッチン

リビング

バスルーム

B
E
F
O
R
E



A
F
T
E
R



事業ポートフォリオの拡大：海外事業（豪州）

豪州にて新たなビッグプロジェクトに着手

- 現在、出資案件含む7カ所の開発プロジェクトが進行しており、区画数は累計300以上に及ぶ
- 更にメルボルン中心エリアから北西にあるディーンサイド地区にて、新たに合計106区画の住宅開発用地を確保
- 今期は、メルボルンを中心にその他エリアへの展開を進め、累計で600区画以上の用地確保を目指す

<住宅開発用地と住宅の完成イメージ>



当社プレスリリース：https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/2024.06.13_Australia_bigproject.pdf

事業ポートフォリオの拡大：海外事業（米国）

2023年12月、オーストラリアに続き、アメリカ合衆国にて当社グループの海外現地法人「KI-Star Real Estate America, Inc.」を設立。米国市場参入調査を進め、当地企業との事業提携、及び当地企業への出資・M&A等を推進する。



KEIAIプラットフォーム導入による、海外における「高品質、だけど低価格なデザイン住宅」の供給



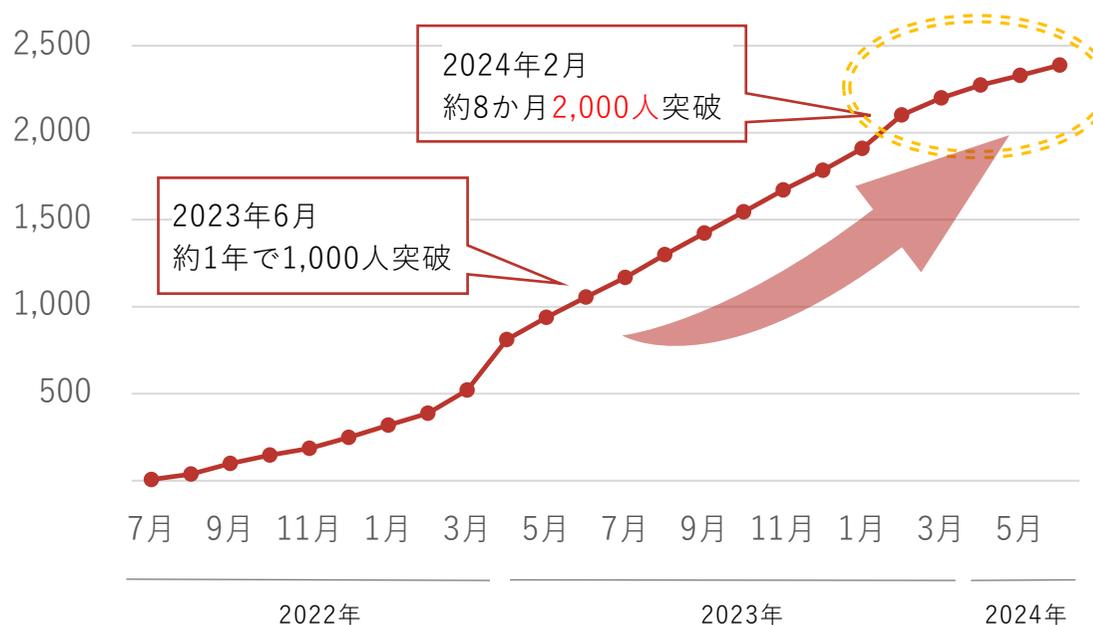
事業ポートフォリオの拡大：ストック事業

当社グループの住宅をご購入または建物の請負工事をご契約されたお客様を対象とした「KEIAI 家サポ」は、住まいの緊急トラブル24時間かけつけサービスや、手厚い住宅点検・検査が受けられる会員制度で、サービス開始から1年8か月で有料会員登録者数が2,000名を突破。その後も順調に有料会員数が増加中



KEIAI 家サポ：<https://owners.ki-group.jp/uchisapo/>

「家サポ」有料会員登録数の推移

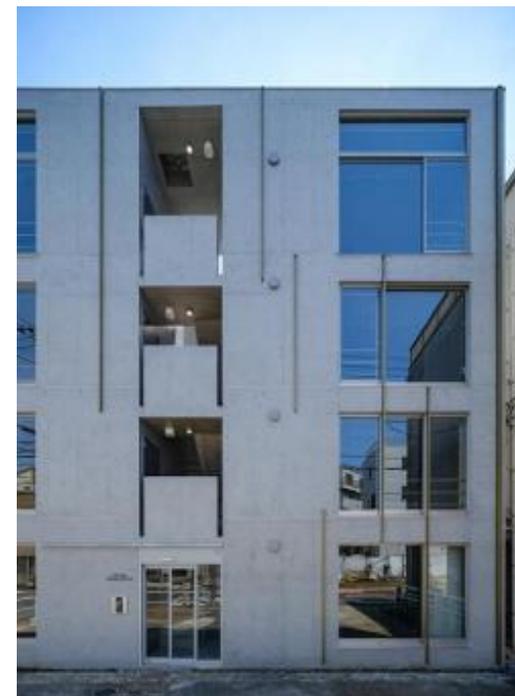
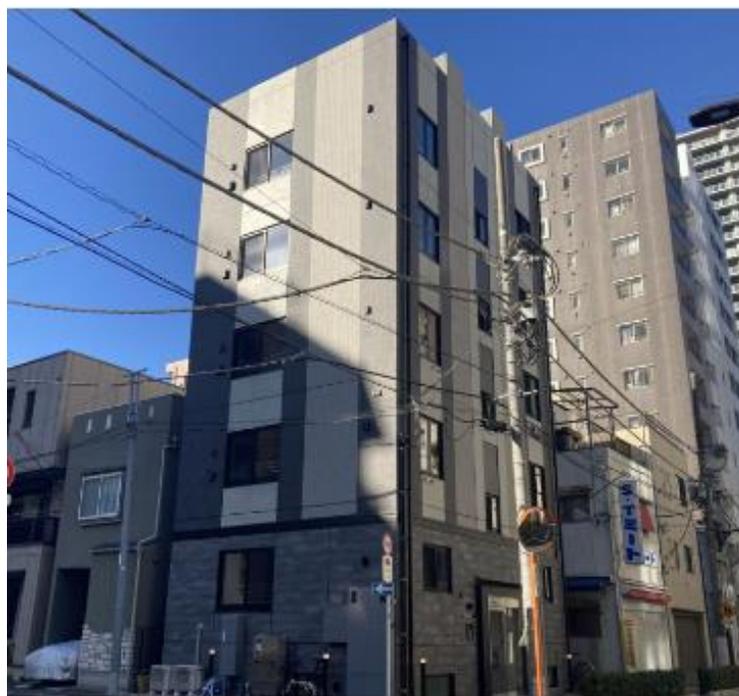


※「家サポ」サービス開始日を起算

事業ポートフォリオの拡大：収益物件事業

好調なアパート投資事業を背景に、より規模が大きく資産性の高い不動産を求めるニーズも高まっていることから、2024年1月より収益事業を開始。都心で最寄駅からの距離を意識した収益性の高い一棟RCマンション等の仕入・販売を行う。

<事業開始より当社が仕入をおこなった収益物件の外観>



株主還元

配当と株主優待

配当（2018年3月期より中間配当を実施）

	2023年3月期 実績 (連結)	2024年3月期 実績 (連結)	2025年3月期 予想 (連結)
1株当たり当期純利益（円）	750.77	434.89	462.82
1株当たり配当金（円）	230.00	180.00	130.00
うち1株当たり中間配当金（円）	140.00	118.00	65.00
配当性向（%）	30.6%	41.4%	28.1%

株主優待

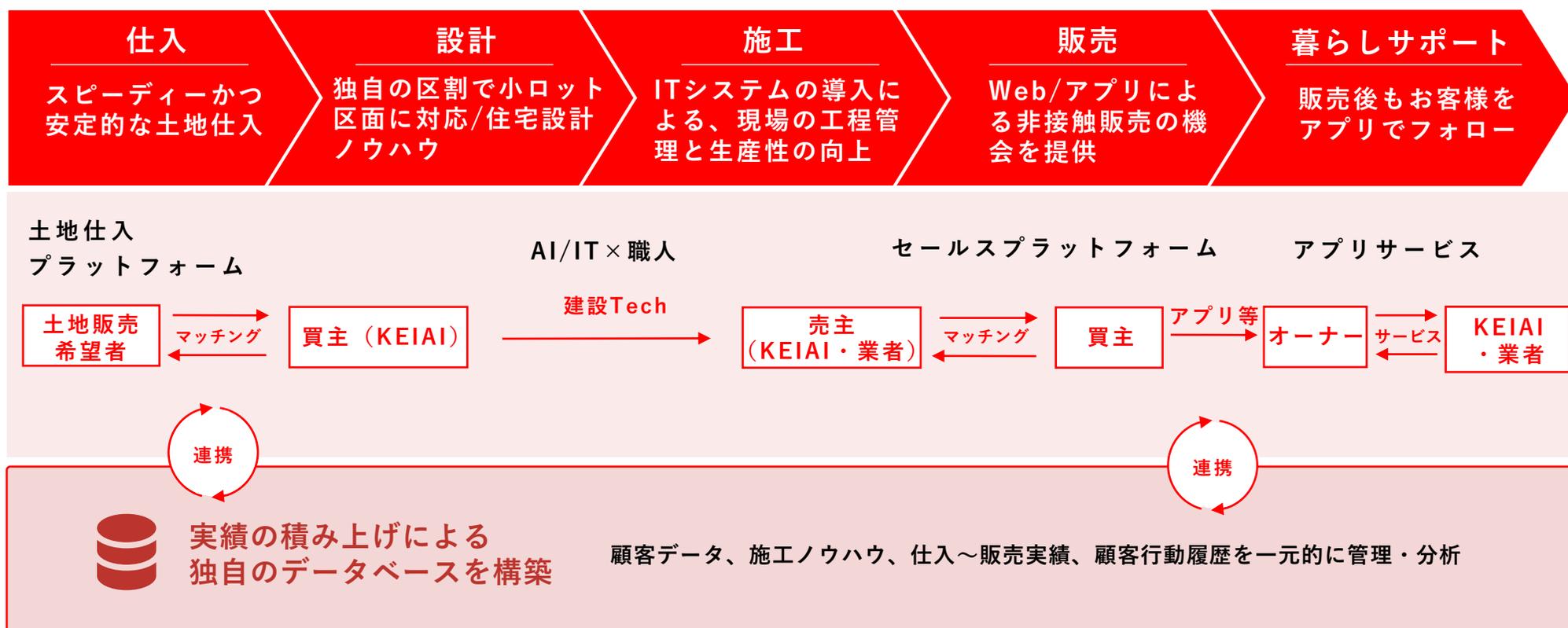
基準日時点（9/30）での保有株数	株主優待特典
100株以上499株まで	Quoカード（1,000円）
500株以上	Quoカード（3,000円）

ビジネスモデル

一気通貫の「リアル×テクノロジー」プラットフォーム

日本の戸建住宅サプライチェーンを革新する「リアル×テクノロジー」モデルによる、土地仕入から設計・施工・販売、サポートまでの一気通貫のプラットフォームを構築。

● リアル×テクノロジーのKEIAIプラットフォーム概要



コンパクト分譲開発による用地仕入の優位性

ケイアイ独自のコンパクト分譲開発ビジネスモデルによって短期間で大量のデータ蓄積が可能。

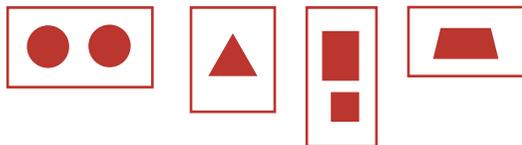
従来の分譲住宅

4棟～10棟規模の多棟一括開発による画一的な従来型の分譲住宅の開発
= 「少品種大ロット」



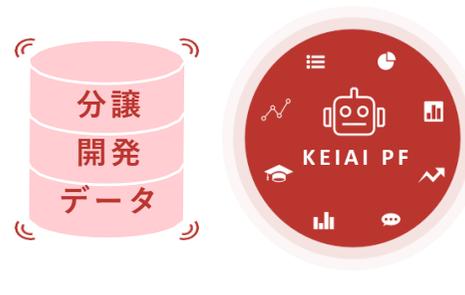
コンパクト分譲開発

多棟中心の従来事業者が参入しにくい1～2棟の小ロット区画にデザイン性の高いコンパクト分譲住宅を多数、高回転で開発 = 「多品種小ロット」

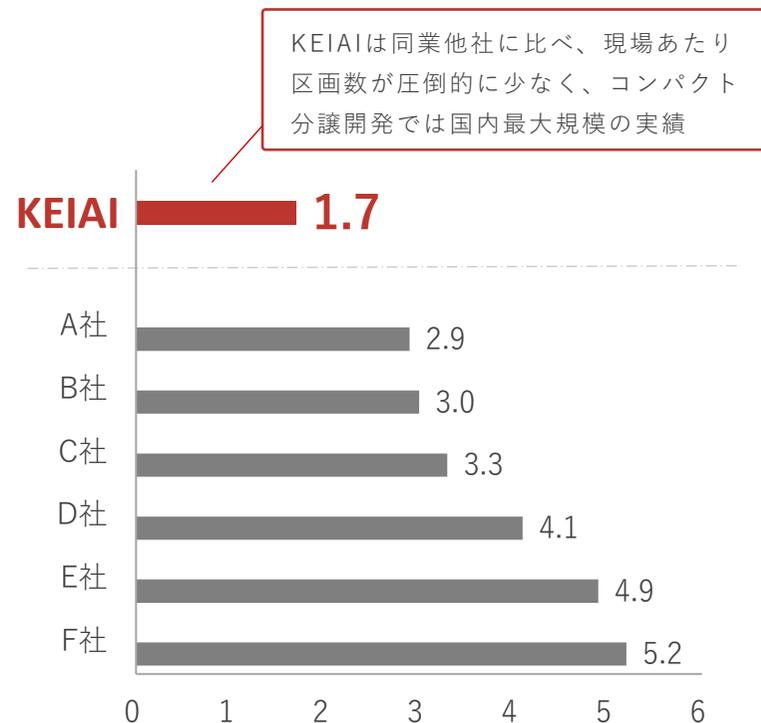


土地情報数の増加

- 分譲開発の経験・データを短期間で大量に蓄積することが可能
- 蓄積されたデータはKEIAIプラットフォームに格納され、用地仕入/販売・マーケティングの高度化に寄与

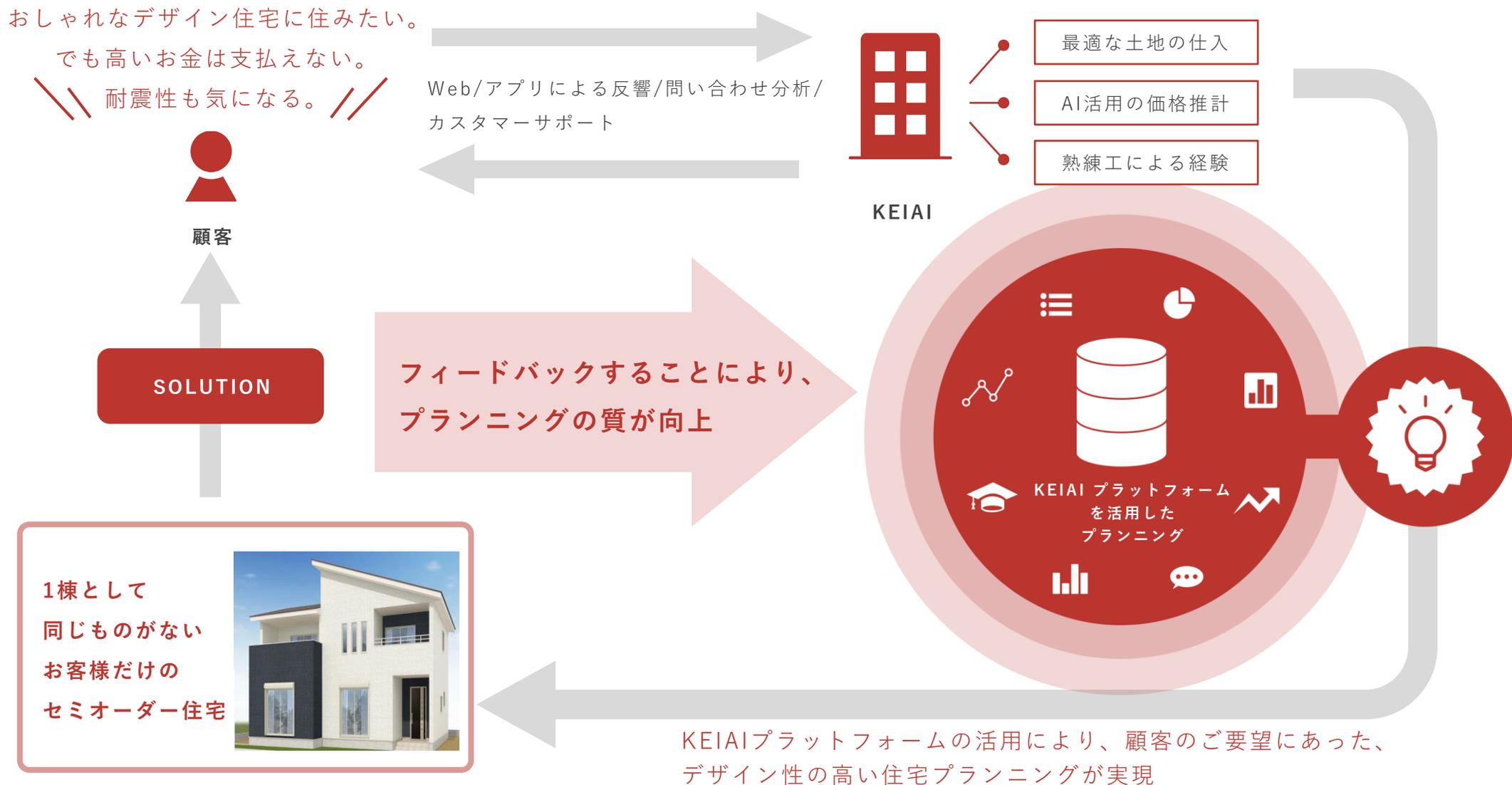


分譲現場あたり平均区画数*1の同業他社比較



*1: 当社（2023年度実績）および業界同業社の分譲住宅開発状況（2020年12月時点）※当社調査による推計値

コンパクト分譲開発によるセミオーダー住宅の実現



ESG/SDGsへの取り組み

サステナビリティ体制を確立

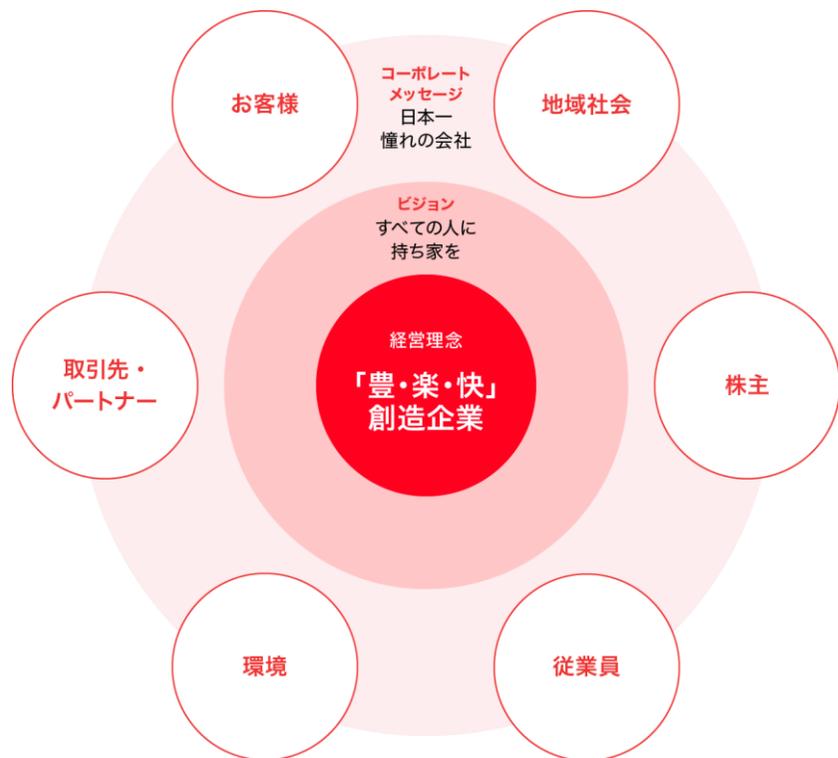
当社グループは、国内外のあらゆる社会課題に積極的に取り組み、人々が幸せに暮らせる住環境の創造を通じて持続可能で豊かな社会づくりに貢献し、企業価値を高めるため「サステナビリティ委員会」をガバナンス上重要な機関として設置し、国内外の社会的な課題の解決や環境への対応、人権に関する課題、及びコンプライアンスの維持・改善に取り組む。



サステナビリティ推進方針、及び重要課題

当社は、経営理念・ビジョンを中心に、関わるすべての人を「豊・楽・快」にする、という考え方のもと、人・組織づくり、ビジネスモデルの発展に取り組み、継続的な企業価値向上を目指す

KEIAIの 「マルチステークホルダーサステナビリティ」



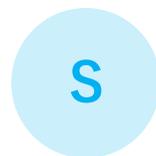
マテリアリティ（重要課題）の設定

ESG項目



環境

Environment



社会

Society



ガバナンス

Governance

当社の取り組み

- 環境保全
- 高品質、だけど低価格なデザイン住宅の供給
- サプライチェーン&パートナーシップの高度化
- ダイバーシティ&インクルージョン推進
- 職人・技術者の育成
- ガバナンスの強化

サステナビリティ推進マテリアリティ

01 | 高品質、だけど低価格なデザイン住宅の供給

Social



02 | サプライチェーン・パートナーシップの高度化

Social



03 | ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進

Social



04 | 職人・技術者の育成

Social



05 | 環境保全

Environment



06 | ガバナンスの強化

Governance



サステナビリティへの取組実績

- 国際的な環境NGOであるCDPより「気候変動レポート2023」において「B」スコア、「サプライヤーエンゲージメント評価 2023」において「A-」スコアの評価を獲得
- 第三者認証「温室効果ガス排出量報告書2023」を取得
- TCFD提言に対応した気候関連情報をHPに開示
- 埼玉県「多様な働き方実践企業」として最上位のプラチナに認定
- 持続可能な社会の実現に向けたサステナブルファイナンスを実行
 - 6月27日に足利銀行からシンジケーション方式のサステナビリティ・リンク・ローン432億円（うち、SLLは204億円）が実行された



持続可能な社会の実現に向けたサステナブルファイナンスの取り組み

持続可能な社会の実現を目指す取り組みの一つとして、2023年9月より計6行と「サステナビリティ・リンク・ローン」や「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を実行。

今後も環境課題や社会課題の解決を図るために、ESGやSDGsへの取り組みを一層推進する。



・（2023年9月）足利銀行によるポジティブ・インパクト・ファイナンスの実行について：

https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/10/2023.10.02_ashikagaginkou.pdf

・（2023年9月）埼玉りそな銀行によるサステナビリティ・リンク・ローンの実行について：

https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/10/2023.10.02_saitamarisona.pdf

・（2024年2月）滋賀銀行によるサステナビリティ・リンク・ローンの実行について：

https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/02/2024.2.29_sigabank_SSL.pdf

・（2024年6月）足利銀行によるサステナビリティ・リンク・ローンの実行について：

https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/2024.06.27_asikagabank_SLL.pdf



・（2023年9月）千葉銀行によるサステナビリティ・リンク・ローンの実行について：

https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/10/2023.10.02_chibaginkou.pdf

・（2023年11月）香川銀行によるサステナビリティ・リンク・ローンの実行について：

https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/11/2023.11.30_kagawabank_SSL.pdf

・（2024年3月）あおぞら銀行によるポジティブ・インパクト・ファイナンスの実行について：

https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/03/2024.3.25_aozorabank_PIF.pdf

持続可能な社会への貢献 エネルギー効率の高い住まいを供給

当社は2024年1月1日以降に仕入れた戸建分譲事業の全棟をZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）水準の仕様に変更。また、グループ会社であるIKI(株)の規格型平屋注文住宅 IKIの全プランにおいて、2024年4月1日より標準仕様をZEH住宅へとグレードアップした。エネルギー効率の高い住宅をより多くのお客様に提供し、住宅市場におけるエコフレンドリーな選択肢を増やしていくことを目指していく。



- ・ 戸建分譲住宅 全棟 ZEH 水準仕様へ変更 : https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/2024.04.25_bunijo_zehsuiyun.pdf
- ・ 規格型平屋注文住宅「IKI」全プランをグレードアップし ZEH住宅へ : https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/2024.4.3_IKI_ZEH.pdf

持続可能な社会づくりを目指し、社内パソコンの安全な廃棄への取り組み

当社は2024年3月に古くなった社内パソコンの適正な廃棄とリサイクルのため、「日本基板ネットワーク事務局※1」へ業務委託を開始。まだ使用可能なCPU、メモリー、PC用モニターは再利用され、その他使用済みパソコン内部から取り出した金・銅・レアメタルなどを国内で売却・循環することで国益貢献し、また、この取り組みは、収益化と適正な工賃の提供を通じて、障がい者の就労支援につながっている。今後も社員一人ひとりが環境保護への意識を高め、地域社会や環境への貢献を継続していく。



〈日本基板ネットワークのみなさんと当社戦略開発本部 次長代理 中村〉



〈回収後の様子〉



*1：全国の障がい者施設が各施設で使用済みパソコンを集め、手作業で解体し、日本国内に資源を循環させている事業体

ニューストピックス

世界3大デザイン賞「iF DESIGN AWARD2024」を受賞

■ 受賞商品：Komichi no Komachi（小路の小町）

■ 商品の特徴

◇日本の伝統的な長屋文化から着想を得たデザイン

◇隣家との境界を小路でつなぐことで風情溢れる新しい街並みを再現



「Komichi no Komachi」特設サイト：<https://ki-group.jp/komichinokomachi/>

業種別人気企業ランキング 4位に選出！

- 「2025年卒版就職企業人気ランキング※1」において、「業種別人気企業ランキング TOP10・不動産」の4位に選出
 - 前年の7位からランクアップ
 - 多角的な事業展開と事業エリア拡大を図るため、成長戦略を担う若手人材の採用を積極的に行う。
- 「地域別人気企業ランキング TOP30・関東甲信越（東京以外）」では 18位に選出

マイナビ・日経「2025年卒版就職企業人気ランキング」業種別人気ランキング（不動産）

第1位	三井不動産	第6位	三井不動産商業マネジメント
第2位	オープンハウス	第7位	森ビル
第3位	三菱地所	第8位	野村不動産
第4位	ケイアイスター不動産	第9位	三井不動産リアルティ
第5位	住友不動産	第10位	NTT都市開発

当社リリース：https://ki-group.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/2024.04.22_mynavinikkei_ranking2025.pdf

※1：株式会社日本経済新聞社と株式会社マイナビが発表

ケイアイチャレンジドアスリートチームとは

理念：日本一挑戦するアスリートチーム

— 障がいを乗り越えるだけでなく、
さらなる高みを目指してチャレンジを続けるパラアスリート集団 —



- 2019年4月に発足し、現在9名が所属
- トップアスリートとして高いレベルのトレーニングと競技を続けながら、イベントや体験会を通してパラスポーツ認知向上のための啓もう啓蒙活動を積極的に行う。
- 競技：
 - ・デフフットサル/デフサッカー
 - ・ろう者柔道
 - ・車いすバスケットボール
 - ・車いすバドミントン



ケイアイチャレンジドアスリートチーム公式サイト：<https://www.athlete.ki-group.co.jp/>

ケイアイチャレンジドアスリートチームの活躍紹介

埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園の 授業に特別講師として参加

- 目的：体を動かすことの楽しさを感じてもらうこと、将来の夢や希望、なりたい姿について考える機会の提供
- 32名の生徒を対象にろう者柔道の体験を取り入れた授業を行う。

〈ケイアイチャレンジドアスリートチーム佐藤選手と坂戸ろう学園のみなさん〉



正智深谷高等学校にてパラスポーツ大会を開催

- 目的：パラリンピックやデフリンピックに対する関心の向上や、障がいへの理解促進
- 当社所属の障がい者アスリート6名と同ディレクター兼女子デフフットサル監督1名の7名が参加し、正智深谷高等学校からは22名の生徒たちが参加

〈正智深谷高等学校の生徒たちとケイアイチャレンジドアスリートチームのメンバー〉



これまでに自治体や教育機関などと連携した体験会や当社主催の大会を開催しており、延べ1,500名以上の方にパラスポーツを体験していただく。

Appendix

分譲市場規模および当社シェア

テクノロジーとコンパクト分譲住宅モデルの強みを活用しながら、主力となる分譲住宅事業において継続的な市場シェア拡大を目指す。



*1：2024年3月までの国土交通省「住宅着工統計」の木造新築一戸建分譲住宅着工棟数などを基にした当社試算

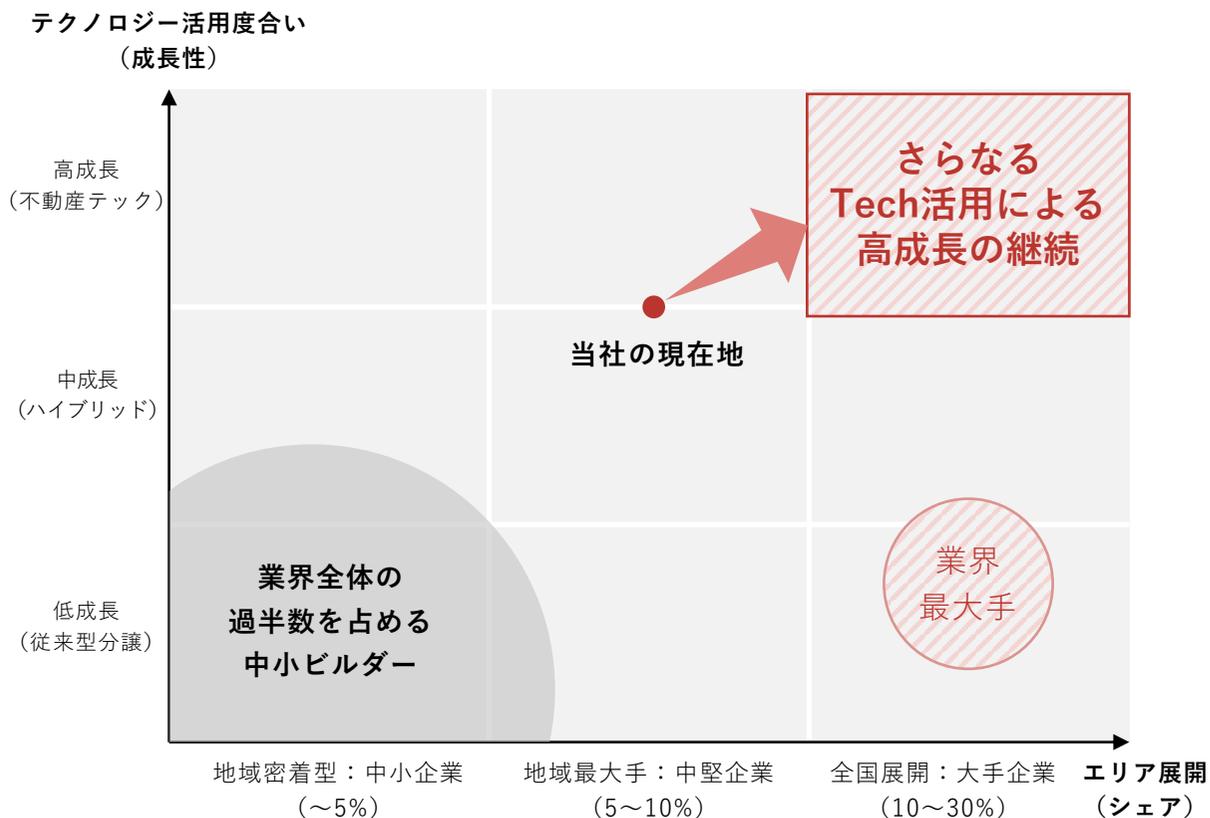
中期経営目標

分譲住宅市場に
おける**シェア拡大**

分譲住宅の業界構造とポジショニング

分譲住宅業界は地域密着型ビルダーが多く、テクノロジーを積極的に活用するプレイヤーも僅少。当社はさらなるテクノロジーの活用により、高成長を継続することで業界シェア拡大を図る。

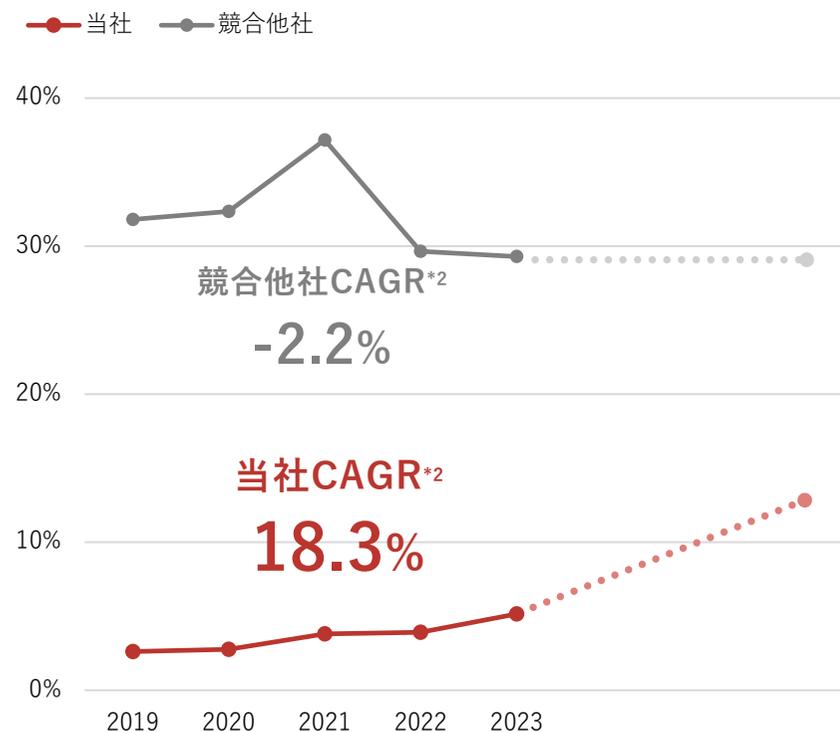
分譲住宅業界におけるシェアと成長性



*1: 業界最大手企業の販売棟数と当社販売棟数の成長率の比較

*2: CAGR = 年平均売上高成長率

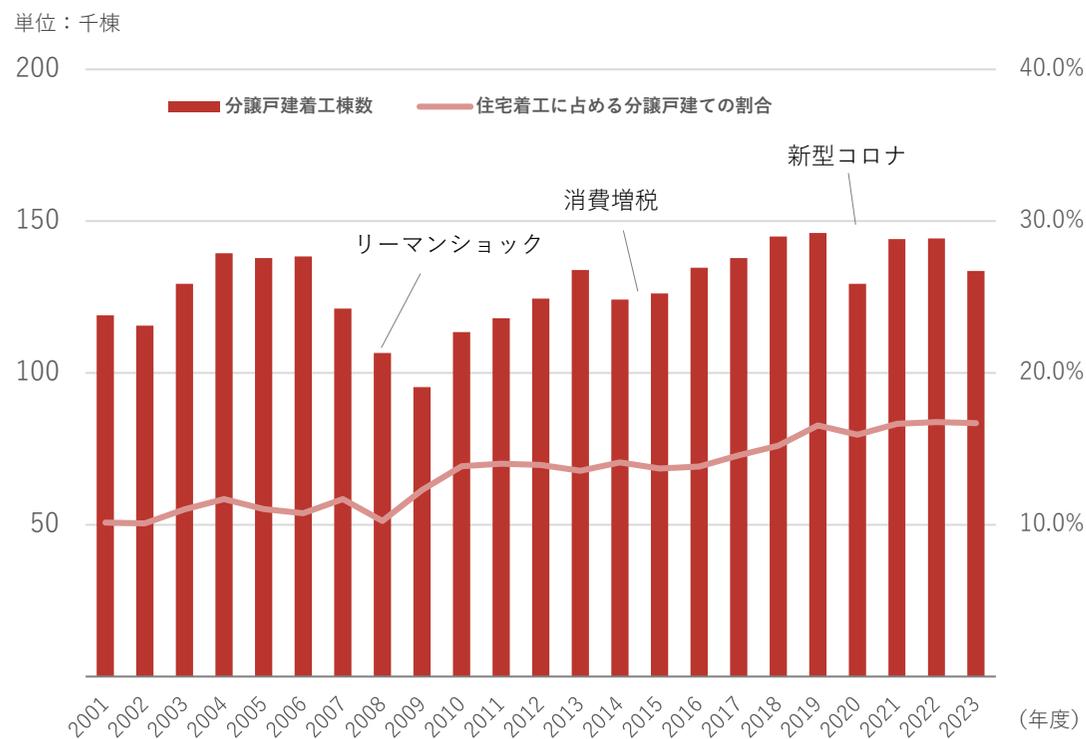
業界最大手と当社のシェア推移*1



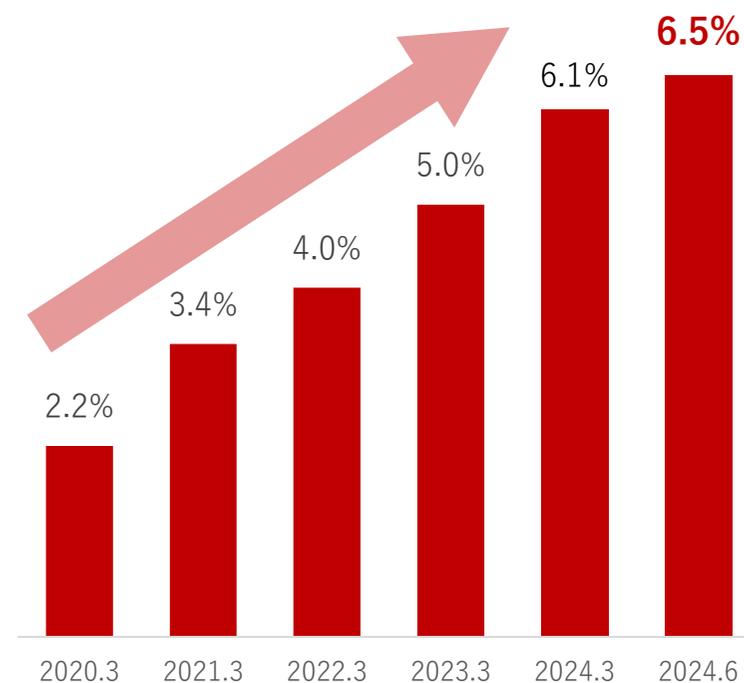
当社の対象市場 - 分譲戸建市場

分譲戸建市場はコロナ禍等の外的変化に伴う一時的な縮小を除き、市場は安定的に推移。巨大な分譲戸建市場において、当社は近年急速なシェア拡大を実現。

分譲戸建の着工戸数の推移



全国における当社シェア推移

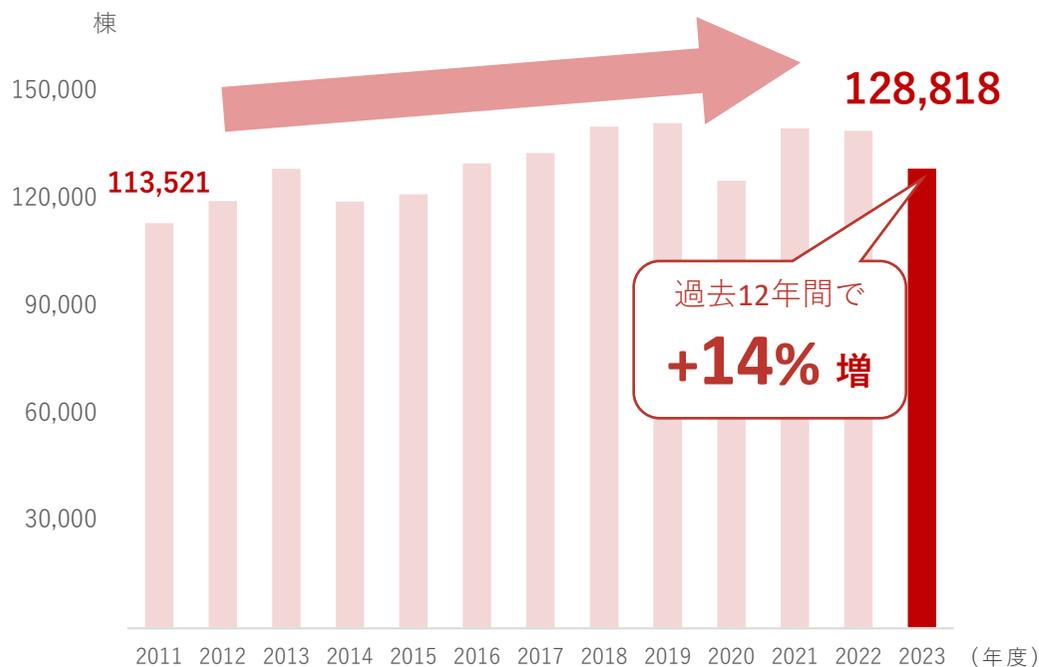


出所：国土交通省資料（建築着工統計調査 住宅着工統計）

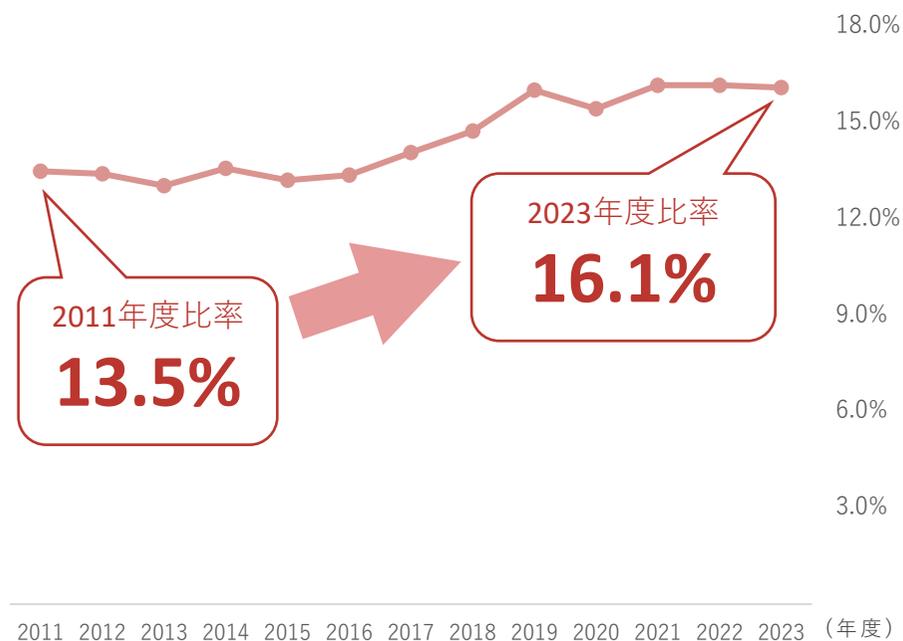
分譲戸建市場の拡大：注文住宅から分譲住宅へのシフト

分譲戸建住宅の着工棟数は過去10年で増加傾向。また、住宅着工棟数に占める分譲戸建住宅の比率も上昇が続く。

木造分譲戸建住宅着工棟数の推移



住宅着工棟数に占める木造分譲戸建住宅比率の推移



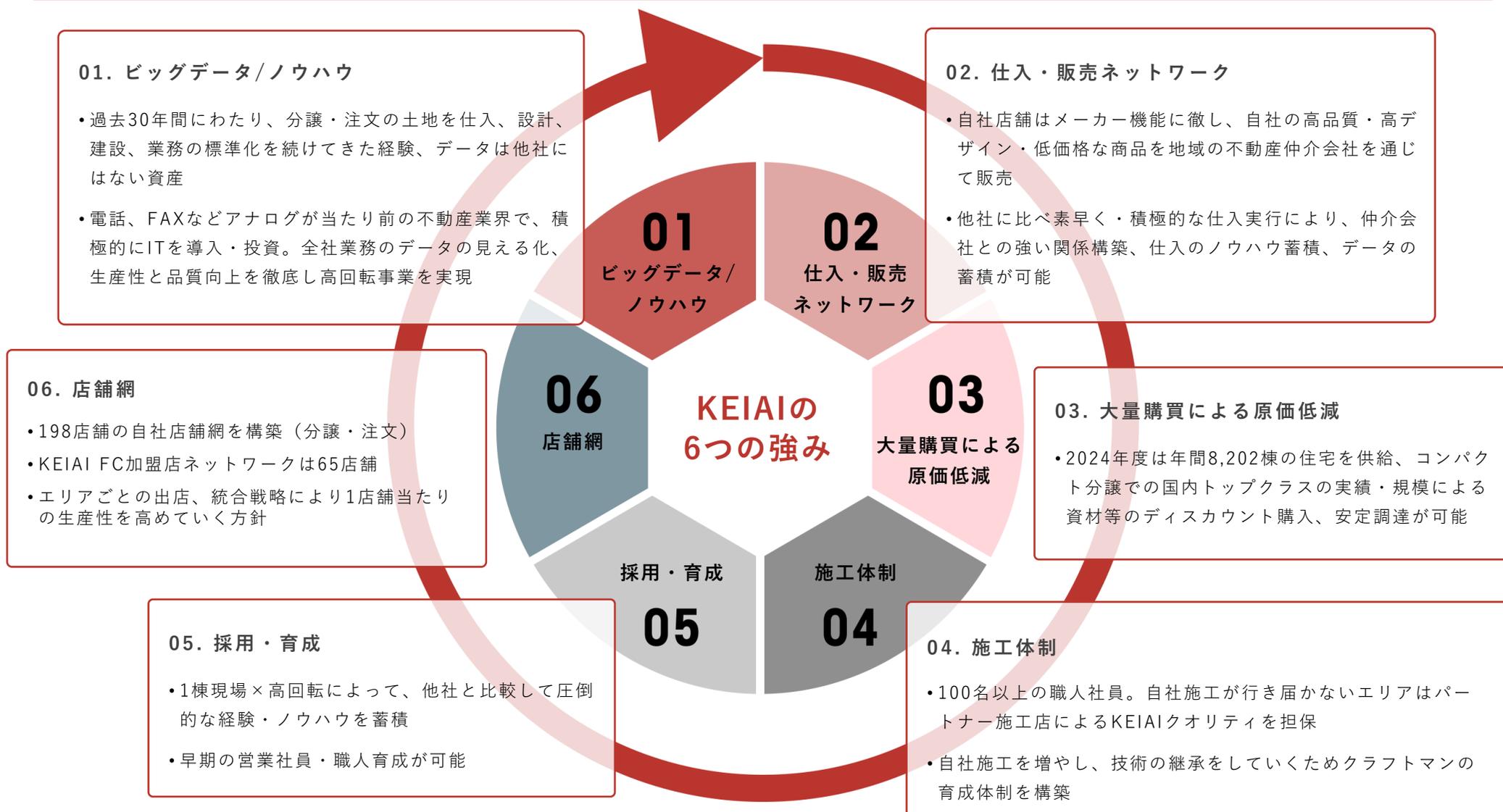
出所) 「国土交通省 住宅着工統計」データを基に作成

KEIAIのセミオーダー新築住宅のメリット

分譲住宅と注文住宅のそれぞれのメリットを取り入れた、戸建住宅の「第四の選択肢」を提供

特徴 / 物件タイプ	分譲住宅	注文住宅	リフォーム住宅	セミオーダー新築住宅
価格	低～中価格	高価格	低価格 (住宅の一部リフォーム)	低価格
仕入	一般的に7棟以上	1棟単位	既存住宅	1棟単位から可能
デザイン	均一なデザイン	家全体のフルオーダー	家の一部のアレンジのみ	1棟ごとに家全体のセミオーダーによるデザイン性の高さ
耐震性	新耐震対応	新耐震対応	旧耐震を含む	新耐震対応
入居までの時間	短	長	短	短
資産性	低～中 (郊外立地、均一デザイン)	低～高 (オーナーの好みに影響)	低～中 (躯体自体は古いまま)	高 (KEIAIプラットフォームによる好立地、高いデザイン性)
サステナビリティ	高 (部材・設備は最新、標準部材を使うため修繕も容易)	低～中 (オーダーメイドのため維持・修繕費用が高むことも)	低～中 (再度のリフォームや場合によっては建替えが必要なケースも)	高 (部材・設備は最新、標準部材を使うため修繕も容易)

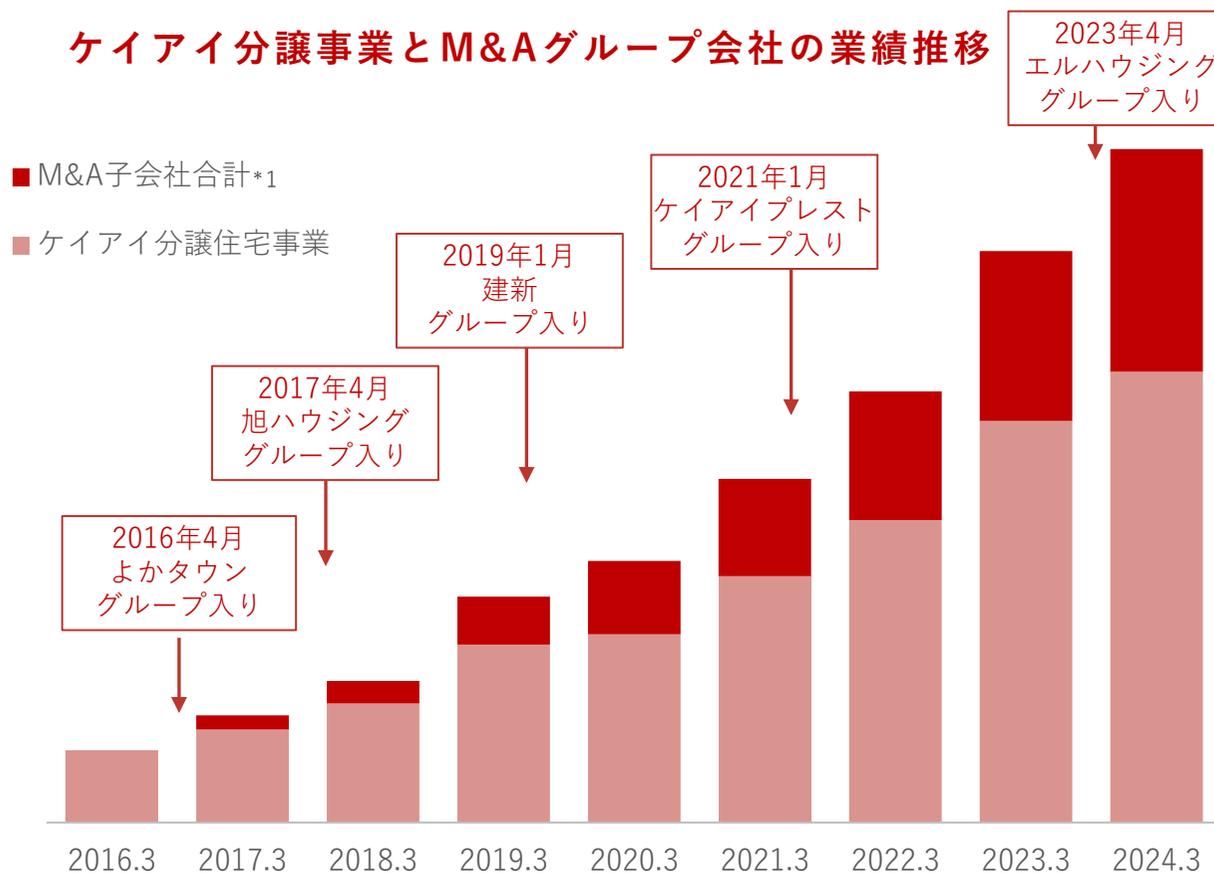
KEIAIグループ成長を支える6つの強み



連結業績に占めるM&Aグループ会社の売上推移

M&Aによってケイアイグループ入りした会社は、成長率が高まり、グループ連結売上高の拡大に貢献。新山形ホームテック・TAKASUGIに関しても、グループ入りによるシナジー効果を発揮させ、売上増加を図る。

ケイアイ分譲事業とM&Aグループ会社の業績推移



*1: M&A子会社合計は、よかタウン、旭ハウジング、建新、ケイアイプレスト、エルハウジングの5社の合計

将来見通しに関する注意事項

提供情報のうち、将来の業績等に関する見通しは歴史的事実ではありません。

資料作成時における一定の前提に基づいて作られていますので、実際の業績は多様な不確定要素により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。

本資料の目的は、当社への理解を深めていただくための一般的なIR情報を提供することで、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、情報利用者ご自身の判断に基づいて実施願います。

掲載情報については細心の注意を払っておりますが、内容についていかなる保証を行うものではなく、本資料の情報を利用したことによって生じたあらゆる障害や損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関する
お問い合わせ

ケイアイスター不動産株式会社 財務戦略・IR部 IR課

URL: www.ki-group.co.jp

当社 HP「IR問い合わせ」より必要事項記載の上、お問い合わせください。